

大村知子* ○潘 億** 稲見直子** (*静岡大、**静岡大・院)

【目的】中国の全人口に占める60歳以上の割合が1999年には10.1%であり、80歳以上は1200万人で高齢化が急速に進展している。しかし中国のGB1335-91被服号型標準では、60歳以上は対象外とされているなど、体型に関する研究は少なく、特に高齢者についての報告は極めて少ない。そこで、中国人女性高齢者の体型を把握することを目的に身体計測を実施し、その特徴について検討する。

【方法】2000年11月ハルビン市において、109人を被験者に長径15項目、高径17項目、幅径9項目、周径15項目、その他体重など5項目、計61項目についてマルチン式計測器等を用いて身体計測を実施した。そのうち資料とした65歳以上は100人であった。平均年齢は67.0歳、最高齢は79歳であった。平均家族数は3.4人で、いずれも日常生活についてほぼ自立している健康な中国人女性である。今回は36項目について解析をした。

【結果】主な項目の平均値は以下のとおりであった。()内に標準偏差を示した。身長154.63cm(4.66cm)、胸囲94.58cm(7.75cm)、胴囲82.07cm(8.91cm)、腰囲98.80cm(7.35cm)、背肩幅38.35cm(2.06cm)、体重61.13kg(9.22kg)であり、皮下脂肪も中国人若年層より厚く、周径項目においては特に日本人より顕著に上回る傾向が認められた。